

## ボランティア大森北(共助による安心安全なまちづくり)



### 【大森北学区】

■世帯数：2,941 世帯

■人 口：7,217 人

■面 積：1.781 k<sup>m</sup><sup>2</sup>

平成 24 年 4 月 1 日現在

### 1 活動・取り組みの内容

- ・ 災害発生時に民生委員と協力して、高齢者の安否確認等を実施する。支援希望者は 82 人、担当ボランティアは 37 人。
- ・ 小学校やPTAと協力して、登下校時における学童の安全警備を行っている。担当ボランティアは 16 人。
- ・ これらの活動の延べ参加者数は約 2,400 人。

#### 【住民へのPR方法】

チラシの回覧、地域広報誌で募集、区政協力委員への協力要請

#### 【アピールポイント】

住民有志主体のボランティア活動であり、犯罪や交通事故の抑制に寄与している。

### 2 きっかけ、背景

都市化が進み、地域住民間の絆が弱くなり、子どもや高齢者の安全対策が不十分になってきた。また、高齢化が進み、災害時に自力で安全を確保できない世帯が増えてきた。

### 3 実施の体制

#### (1) 運営メンバー

区政協力委員、町内会・自治会長、  
民生委員児童委員、ボランティア会  
員登録者 計約 70 人

#### (2) 他団体との協力

民生委員協議会、大森北小学校及  
びPTA、大森北学区自治会

#### (3) 運営協力

連絡協議会の各団体と定期的に会  
合を開き、協力を要請している。

### 4 実施のスケジュール

H21年9月 ボランティア会設立準備会の設置

H21年9月 ボランティア会員の募集、ユニフォー  
ム～22年3月 ムの作成

3月 ボランティア大森北設立総会の開催  
活動方法及び活動内容別担当者を決定

4月 活動開始  
やまびこ部会：災害時の安否確認  
みどり部会：登下校の見守り

H23年6月 総会（問題点の洗い出しと対策を協  
議）

H24年2月 安否確認、模擬訓練及び自主防災訓練  
への参加

### 5 成果と課題

#### (1) 成果・効果

- ・ 活動を通じて、住民の意識が高まった。
- ・ 学童とのふれあいが増加した。
- ・ 父兄より感謝の言葉をいただいた。

#### (2) 苦労した点

- ・ ボランティア会員が増えない。
- ・ 会員の地域バランスが偏っている。

#### (3) 今後の課題・展望

- ・ 会員の高齢化による減少が懸念される。
- ・ 他団体との積極的な協力が必要である。

#### (4) メッセージ・アドバイス

- ・ ボランティア会員登録者の確保と増強、  
また、地域住民の理解と関心を高める  
方策を練ることが重要である。

地域の安心・安全の向上を願って  
ボランティア活動に参加しましょう

ボランティア大森北

●ボランティア会員を募集しております

みどり部会：大森北小学校児童の登下校時安全見守り

安否やまびこ部会：災害時安全確認と助け合い

子どもたちの安全の見守りと万一の災害発生時には安全確認と助け合いに地域全体での取り組みが大切だと思  
います。

●ボランティア会員へのご参加申し込みは

次のいずれかへ

担当民生児童委員

町内会長

大森北集会所

ボランティア大森北

(伊藤798-3132)

